

【情報公開文書】

2020年6月24日作成

Ver.1.0

研究課題名	長崎県下の high volume center おける、肝臓・胆道・膵臓・脾臓疾患に対する手術成績・治療経過に関する検討
所属（診療科等）	長崎大学病院 移植・消化器外科
研究責任者	足立 智彦（講師）
研究機関	本研究は長崎大学病院 移植・消化器外科を中心に県内3施設で実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。
研究期間	2020年9月15日～2025年12月31日
研究目的と意義	肝胆膵脾疾患に対する開腹手術および鏡視下（ロボット支援下および腹腔鏡下）手術を含めた手術手技や生存期間などの予後を含めた術後成績を解析することにより、各研究機関における肝胆膵脾疾患の外科治療における現状を把握し、有用な治療方法、手技をより深く探索することを目的とします。さらに本研究により解析したデータを広く報告する事で将来に向けての治療成績の改善を行う事ができると考えています。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2009年1月1日から2024年12月31日までの間に各研究機関で肝胆膵脾疾患に対して手術を行った患者さん6000名。</p> <p>●利用する情報</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 臨床所見 ② 既往歴、生活歴、家族歴、 ③ 血液学的所見 ④ 画像検査所見 ⑤ 手術所見 ⑥ 手術手技、再建法 ⑦ 病理所見 ⑧ 術後有害事象内容 ⑨ 術後在院日数 ⑩ 術前術後補助療法の有無・術後経過・合併症の有無 ⑪ 予後/再発 <p>本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p>

	<p>●研究の概要・方法</p> <p>上記データを用いて、肝臓・胆道・膵臓・脾臓疾患に対する腹腔鏡手術症例の有用性の検討と臨床的意義を明らかにします。</p> <p>抽出した情報は、パスワード付きファイルを用いて管理を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究代表者】</p> <p>氏名：足立 智彦（医師） 長崎大学病院 移植・消化器外科</p> <p>住所：長崎市坂本1丁目7番1号</p> <p>電話：095（819）7316 FAX 095（819）7319</p> <p>【ご意見/苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>